



世界経済の実像と今日の変化から予測する新しい未来

令和7年4月19日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

世界における経済の統一はその金融資本において与えられるグローバル経済の統一が存在する。これら資本は新しい未来を求めるのである。

他方においては先端産業が新しい世界の創造を模索する。そして資本はそれらに流入するのである。

これら現実が世界の統一性のもと存在するのである。そして資本は新たな資本を創出する。これらが富の形成における世界の格差の創造である。それらが為替と金利、物価の決定を与えるのである。しかし経済が必ずその生産性において唯一存在する。それらは資本ではないのである。これらは日本の強さであることは理解できる。

これらは資本における評価という価値の創造が、それら生産業者において、明らかに今日のその正しい評価でない低い判断において存在するのである。

これらは、実体経済は生産と需要において存在し、資本がそれを所有するという今日の経済の原則が存在するのである。

これらは市場規模において今日の為替とともに全ての国家における市場を判断するとき、その自国経済における許容性の相違性を理解できるのである。これらは自国産業の保護と育成において、自国を優先する政策は全ての国家において同じなのである。

また先端技術の要求は今日絶対的な必要性を経済において与えるものである。資本が資本を産むことは金融の現実である。そこに豊かさと貧しさの創造があるのである。

それは働いても豊かにならないという構造なのである。これらはグローバル経済の真実であることは理解すべきである。

これら現実において正しい経済政策を得る事が、自国経済の正しい構築を可能とできるのである。